

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金	開始 年 度	昭和47年度
団 体 名	函館市教育研究会連絡協議会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内教職員による各教科等の研究団体（29団体および事務局）が相互の連絡調整を図り、効果的な活動の推進に努め、函館市における幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教育水準の向上を目指した事業を行う。
目 的	（目 的） 函館市における教育水準の向上および優れた教育実践の情報発信等のため、研究会相互の連絡調整を図り、効果的な教育研究活動の推進にあたる。
・ 効 果	（効 果） 研究会相互の連絡調整を図り、幼稚園・小・中・高等学校の一貫した教育の充実と効果的な活動を推進でき、各種研究会、研修会の参加補助を行うことにより、全道および全国教育内容を把握し、児童生徒へのより効果的な教育活動が推進できる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	雑収入			計
		市	その他					
収 入	26	700	45	2,946	39			3,730
	27	700	20	2,243	35			2,998
	28	500	20	1,749	35			2,304
	29	500	0	1,581	35			2,116
	30	450	0	1,438	35			1,923
支 出	年 度	事務費	事業費	雑費				計
	26	946	2,688	96				3,730
	27	1,113	1,799	86				2,998
	28	819	1,363	122				2,304
	29	757	1,279	80				2,116
	30	695	1,169	59				1,923

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金
----------------	------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	教育研究活動は指導方法等に関する情報交換はもとより、教材・教具の共同開発や共有化等も行っており、市全域の教育レベルの向上と平均化に寄与している。 また、各研究会が解散した場合には、関係する全国・全道大会の誘致ができず、市の教育水準の向上に悪影響が生じる。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	教職員個人の資質向上だけでは市の教育水準の向上は図れないことから、各研究会に対する一定の補助が必要である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	各研究会では、会費を徴収して収入確保に努めているほか、経費の節減にも努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☒	来年度の会員に大きな変動はないと見込まれていることから、積算内訳も同程度と思われるため、積算内訳が前年踏襲となっている。 会員数により、適切な積算内訳を検討していく。
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定められていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見定め、積算基準の設定について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1／2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	教員数の減少に伴い、主な自主財源である会費収入が減少していることから、会費の見直しを含めた財源確保策について協議していく。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

函館市教育研究活動推進事業補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

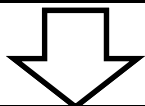
本補助事業の効果は教職員の資質向上や教育力の向上であるため, 効果測定の数値基準を設定することは困難であるが, 実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうか確認し, 効果を測定する。

(達成状況)

各研究会がそれぞれ全国・全道大会への参加を行うことにより, 全道および全国の教育内容を把握し, 児童生徒へのより効果的な教育活動を推進することができた。

また, 授業研究や公開授業などに取り組み, 教職員の資質向上や研究実践など教育力の向上に効果があった。

各研究会の取り組みにより, 函館市において全国・全道大会が開催され, 教育振興のみならず, 地域活性化にもつながっている。



(評価)

十分効果をあげている

☒

一定の効果をあげている

☐

効果が疑問である

☐

その他

☐

(理由)

○今後の方向性

☐

現行のまま補助を継続

☒

見直したうえで補助を継続

☐

廃止

☐

その他

(見直しの内容)

補助金交付団体の収支状況を都度確認しながら, 補助金の縮減に向け検討を進める。

(見直しの時期)

令和3年度予定

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和 3 年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 3 年度